

小倉 二〇名 八幡 四五名
戸畑 二六名

8、メッセージ（社大縣聯）朗讀

9、本部報告

安部 鹿造

本部に於ける一般報告は昨年十二月十七日富屋ザバートで準備會を開催した、九州統一労働組合組織の任務は九州合同労働組合を解散し全九州労働者の同盟が必要であると云ふ見地からである、私が入つた當時は組合員も僅かであった、何故この状態に陥つたか、これは政黨運動と組合運動とが取違へられ空宣傳的な闘争に陥つたからだ、この區別をはつきりしたい。右翼団体は實際の動員は出来ないが割合に統一が取れて居る、吾々は其の統一を持たなかつたので今日相寄り築き上げんとするのである、本部の闘争は機

關紙發行による組織の擴大や研究會の開催に依り從來の欠陥を討議をする、先般の淺野セメント対田の争議は本部が直接闘争の指導をした、これは大勝であつたが一般には餘り闘争はしてゐない。

10、支部報告

寺崎與三郎 報告

○門司支部

昨年九月同志高崎君と共に失業救済事業の錦町縣道工事の時間短縮問題で市當局並小倉土木管區に對し之が要求を關ひ取つた縣營事業の一圓均一を一圓十錢に値上を要求したが同志の高橋君を失ひ分列の聲さへ起り本部と吾々幹部との團結で更生の途上にある、八年度事業が完成次第後の仕事を要求し、後の仕事が出来る迄徹底的救済の件も獲得した、三井の給與米にしても同じである、目下後仕事促進運